

鎌倉都市計画道路の変更（神奈川県決定）

都市計画道路中 3・5・7号腰越大船線を次のように変更する。

種 別	名 称		位 置			区 域	構 造				備 考
	番 号	路 線 名	起 点	終 点	主 な 経 過 地	延 長	構 造 形 式	車 線 の 数	幅 員	地表式の区間における鉄道等 の交差の構造	
幹 線 街 路	3・5・7	腰越 大船線	鎌倉市 腰越 三丁目	鎌倉市 小袋谷 一丁目	鎌倉市 手広 三丁目	約 6,340m	地 表 式	2 車 線	12m	JR 横須賀線と立 体交差 幹線街路 3・6・7 号雪ノ下大船線 と立体交差 幹線街路と平面 交差 2 箇所	

「区域及び構造は計画図表示のとおり」

理 由 書

鎌倉市は、三浦半島の基部に位置し南は相模湾に面し、温暖な気候と山、海の豊かな自然に恵まれた都市であり、「くらしに自然・歴史・文化がいきる古都鎌倉」を基本理念とし、「古都としての風格を保ちながら、生きる喜びと新しい魅力を創造するまち」の実現を目指しています。

深沢地域国鉄跡地周辺地区では、「鎌倉都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」における「市街地開発事業に関する主要な都市計画の決定の方針」の中で、大規模工場跡地や旧国鉄清算事業団地跡地等を中心に、面的に一体整備を行うとともに、隣接する藤沢市村岡地区の新駅を中心としたまちづくりと連携を図りながら、都市基盤の整備を図るとなっています。

都市計画道路 3・5・7 号腰越大船線は、腰越から深沢地域を経て大船までを南北に縦断する幹線街路として市内主要拠点との連絡道路や交通渋滞の解消といった役割を担っており、「鎌倉都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」における「交通施設の都市計画の決定の方針」の中で、おおむね 10 年以内に整備することを予定する主要な施設に位置付けられています。

また、「鎌倉市都市マスタープラン」において、深沢地域国鉄跡地周辺の整備に伴い発生する自動車交通処理のため、周辺道路の機能強化を図るとなっています。

本路線は昭和 13 年に当初都市計画決定がされ、道路整備を進めてきましたが、村岡・深沢地区土地地区画整理事業区域内外の延長約 720m の区間について、歩行者や自転車の安全快適な通行を確保し、円滑な交通処理を図るため、詳細な検討を行った結果、必要な区域の変更を行うものです。

新旧対照表

新旧	種別	名称		位置			区域	構造				備考
		番号	路線名	起点	終点	主な経過地	延長	構造形式	車線の数	幅員	地表式の区間における鉄道等の交差の構造	
新	幹線街路	3・5・7	腰越大船線	鎌倉市腰越三丁目	鎌倉市小袋谷一丁目	鎌倉市手広三丁目	約 6,340m	地表式	2車線	12m	JR 横須賀線と立体交差 幹線街路 3・6・7 号雪ノ下大船線と立体交差 幹線街路と平面交差 <u>2箇所</u>	
旧	幹線街路	3・5・7	腰越大船線	鎌倉市腰越三丁目	鎌倉市小袋谷一丁目	鎌倉市手広三丁目	約 6,340m	地表式	2車線	12m	JR 横須賀線と立体交差 幹線街路 3・6・7 号雪ノ下大船線と立体交差 幹線街路と平面交差 <u>4箇所</u>	